



各 位

平成 29 年 4 月 28 日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
 代表者 代表取締役会長兼社長 川崎 博也
 (コード番号 5406)
 問合せ先 秘書広報部長 楠山 泰司
 (TEL 03-5739-6010)

業績予想に関するお知らせ

平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の連結及び個別業績予想について、お知らせいたします。

記

平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の連結及び個別業績につきまして、今般その見通しを得ましたのでお知らせいたします。

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 連結業績予想数値(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期第 2 四半期累計期間実績(A)	815,130	30,995	12,320	4,109	11.31
今回発表予想(B)	930,000	35,000	20,000	15,000	41.40
増減額(B-A)	114,869	4,004	7,679	10,890	
増減率(%)	14.1	12.9	62.3	265.1	

平成 30 年 3 月期通期 連結業績予想数値(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常損益	親会社株主に帰属する当期純損益	1 株当たり当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前連結会計年度実績(A)	1,695,864	9,749	△19,103	△23,045	△63.54
今回発表予想(B)	1,870,000	75,000	50,000	30,000	82.81
増減額(B-A)	174,135	65,250	69,103	53,045	
増減率(%)	10.3	669.3	—	—	

平成 30 年3月期第2四半期累計期間 個別業績予想数値(平成 29 年4月1日～平成 29 年9月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期第2四半期累計期間実績(A)	445,638	4,561	6,914	19.00
今回発表予想(B)	530,000	30,000	30,000	82.66
増減額(B-A)	84,361	25,438	23,085	
増減率(%)	18.9	557.7	333.9	

平成 30 年3月期通期 個別業績予想数値(平成 29 年4月1日～平成 30 年3月 31 日)

	売上高	経常損益	当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前事業年度実績(A)	923,700	△16,557	△6,319	△17.39
今回発表予想(B)	1,040,000	40,000	40,000	110.21
増減額(B-A)	116,299	56,557	46,319	
増減率(%)	12.6	—	—	

※当社は、平成 28 年 10 月 1 日を効力発生日として、10 株を1株とする株式併合を実施したため、平成 29 年3月期の期首に当該株式併合が行なわれたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び1株当たり当期純損益を算定しております。

業績予想の概要

当期の我が国経済は、雇用環境の改善や企業の設備投資及び個人消費の持ち直しの動きを受け、緩やかな回復基調が続くことが想定されます。海外では、中国やインドにおいては成長率が鈍化するものの、米国、欧州においては景気回復傾向が続くことが見込まれます。一方で、保護主義的な傾向の強まりや為替変動などが経済に与える影響は懸念材料であり、不確実性が払拭できない状況にあります。

当社グループにおいては、自動車向けや建築向けなどの需要は堅調に推移することが見込まれますが、造船向けの需要の弱含みやエネルギー関連向けの需要低迷が継続することが懸念されます。

このような中、鋼材やアルミ・銅圧延品などの販売数量や販売価格及び原料価格などの未確定な要素については一定の想定をした上で、当期の連結業績については、売上高は1兆 8,700 億円程度、営業利益は、前連結会計年度において計上した鉄鋼での高炉改修の一時費用がなくなることや建設機械での滞留債権に係る引当金の追加計上は想定していないことから 750 億円程度と見通しております。これを受け、経常利益は 500 億円程度、親会社株主に帰属する当期純利益は 300 億円程度と見通しております。

また、個別業績については、売上高は1兆 400 億円程度と見通し、鉄鋼での高炉改修の一時費用がなくなることなどから、経常利益は 400 億円程度、当期純利益は 400 億円程度と見通しております。

詳細につきましては、本日発表の「平成 29 年3月期 決算短信」【添付資料】1. 経営成績等の概況を併せてご参照下さい。

(注)上記の業績予想につきましては本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上